



教師を対象とした情報交換会の開催

SSH 指定校の教師による情報の共有と協議を行いました

各指定校のSSH授業の向上を目的に、教師を対象とした情報交換会を開催しました。平成30年度は12月25日、26日の2日間にて、約550名が参加しました。

分科会では、課題研究、SSHの取組の評価、授業改善、国際性の育成など、今後の学校で求められ

る取組をテーマに、参加者は活発な意見交換を行いました。さまざまな課題を持ち寄り共有する中で、自校の取組に活かせる解決策が見つかった、等の感想が聞かれました。



SSHから 世界と未来へ ～続くSSHとの絆～

コネチカット大学化学科 アシスタント・プロフェッサー さきがけ研究者(兼任) 萬井 知康(愛媛県立松山南高等学校 SSH 一期生 同メンター制度 発起人[初代表])

私の研究者としての始まりは SSH です。科学を学びたい、研究がしたいと考えて、理数科に入った私にとって、初年度からその恩恵を受けられたことは非常に幸運でした。SSH は高校段階では得難い様々な機会を提供してくれました。課題研究に取り組むことにより、未知に取り組むこととは何かを身をもって学ぶことができました。また、講演や講義、研究室訪問を通して、大学・研究機関の先生方の話を聞くことができ、海外に出て研究することを強く意識するようになりました。高校まで日本を出たことのない私が、米国の大学で学位をとり、現在は米国の大学で教鞭を執り、研究をしています。だれも知らない新しいことを知りたいという好奇心と情熱が私を含めた多くの研究者を突き動かし、その熱は周りの人に伝わっていきます。大きな熱量を持って高校生の私に接してくれた先生方のように、私も自分が受けた以上の熱量を持って、現在そして未来の生徒たちに科学研究の面白さを伝えていきたいと思っております。



▲米国研修で研究室訪問時の松山南高校の生徒とコネチカット大学の学生との記念撮影(一番右)

国際的なサイエンスフェアへの参加

海外での発表や連携の機会を積極的に提供

The 13th Conference on Science and Technology for Youth (第13回青年科学技術会議)

■主催 The Institute for the Promotion of Teaching Science and Technology (IPST)

■日程 平成30年7月15日から17日まで

■開催地 タイ王国バンコク都

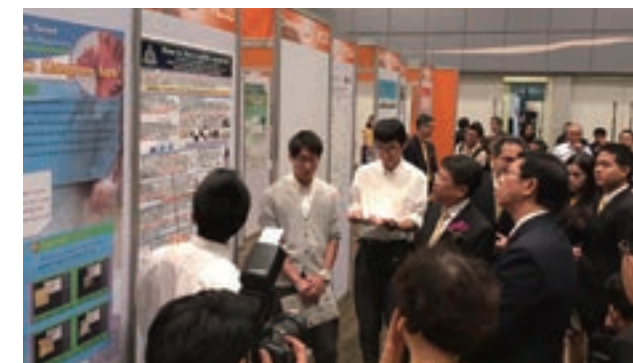
■参加SSH指定校

秋田県立秋田中央高等学校

長崎県立長崎西高等学校

■主な感想

- ・参加者との交流を通して科学を学ぶ者としての姿勢を知り、グローバル化を体感することができた。
- ・研究内容がどれもハイレベルで最新の機材を使った研究が多く、とても驚いた。



33rd China Adolescents Science and Technology Innovation Contest (第33回中国青少年科学技術イノベーションコンテスト)

■主催 China Association for Science and Technology (CAST)

■日程 平成30年8月14日から20日まで

■開催地 中華人民共和国 重慶市

■参加SSH指定

兵庫県立加古川東高等学校

奈良女子大学附属中等教育学校

■主な感想

- ・海外の高校生の国際意識の高さに驚いた。今後はより一層世界全体に目を向けて、ものごとを考えていこうと思った。
- ・国際的な視点で研究内容の評価ができ、自らの優れていることと劣っていることがはっきりと確認できてよかった。



実施による効果

生徒の科学技術への興味・関心や姿勢に関する効果

SSHの取組を通して、科学技術に関する学習意欲や未知の事柄に対する興味等について向上。

- 科学技術に関する学習に対する意欲が向上したと回答した生徒：62%
- 未知の事柄への興味(好奇心)が向上したと回答した生徒：79%
- 自分から取り組む姿勢(自主性、やる気、挑戦心)が向上したと回答した生徒：71%
- 真実を探って明らかにしたい気持ち(探究心)が向上したと回答した生徒：71%

【平成30年度SSH意識調査】 [国立研究開発法人科学技術振興機構]